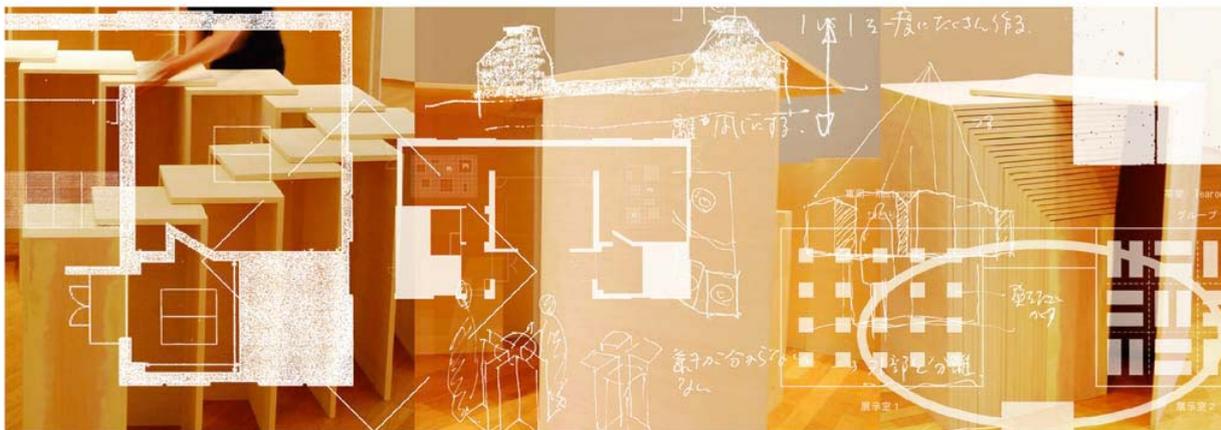


**ARTCOURT Gallery**

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

〈建築する音 vol.4 - 天満大茶会 / party-大茶会〉開催のご案内



アートと空間の関係性について考え、その経験と実践に新たな方向性を見出すため、アーティスト藤本由紀夫と建築家、アートコートギャラリーによって始められた共同企画『建築する音』。4年目を迎える今回は、〈作品 - 人 - 空間〉の相互作用を促し、アートの鑑賞行為を活性化させるコミュニケーションの磁場を作り出すという昨年のテーマを、日本独自のコミュニケーションの形態である「茶の湯」にヒントを得た新たな視点のもとに発展させ、また、茶の湯と深い関わりをもつ禅の基本姿勢、日常生活におけるあらゆる行為・経験は同等であり、互いに還元され、途切れなく繋がりが循環するひとつの流れを形成していると思なす態度を、現代社会における日々の生活とアート鑑賞の関係に重ね合わせて提示する試みです。

茶の湯の世界を構成する重要な要素である「見立て」(=平凡な物事の組み合わせや見せ方に少し手を加え、あるいはそれ自身のあり方を通常の状態から少しだけズラすことによって、その場にいる人を取り込みながら特異で印象深い状況を生み出す行為)に着目したインスタレーションや、人(亭主・客)・空間(茶室)・モノ(掛け軸や茶器)の親密な交遊が生まれる場の成り立ちについての考察から抽出された様々なコンセプトに基づく茶室的スペース「tea area」が、アート作品と呼応しながらギャラリー内の様々な場所に設えられます。点在するそれぞれのスペースでは、個別で親密な〈作品 - 人 - 空間〉によるコミュニケーションの磁場が発生し、それらは各スペースを行き来する人の流れによってゆるやかに連帯することでひとつの有機的な集合体を形成します。

520年余前の10月、豊臣秀吉が京都北野天満宮境内と周囲に広がる松原を会場に1500もの茶席を点在させ開催した「北野大茶湯」に想いを馳せつつ、この密かなざわめきに満ちた集まりを「天満大茶会 / party-大茶会」と名づけ、同じ10月に催します。秋の月夜に、にじり口を抜け、空間・人・アートとの交感を通して、普段は見落とされている日常世界の細部や微かな気配に改めて目を向け、耳を澄まし、その奥深さや新鮮さ、独自の美を体感してください。

〈企画概要〉

タイトル…藤本由紀夫×建築家×アートコートギャラリー「建築する音 vol.4 - 天満大茶会」

会場…アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート 1F

開催日…2009年10月2日(金)、3日(土)

開催時刻…2日:19:00 - 21:00 / 3日:17:00 - 21:00

参加費…各日 ¥1,000(各tea areaでのドリンクサーブ3回分、その他お月見のための軽食もお楽しみいただけます。)

*両日とも予約制、2日:定員30名 / 3日:定員50名

ご予約は、TEL:06-6354-5444 or E-mail: info@artcourtgallery.com までどうぞ。

*下記の時間帯はご観覧のみ可能(無料、※調整中のためにご覧いただけないエリアがある場合もございます。)

2日 11:00-18:45 / 3日 11:00-16:45

◆アーティスト…藤本由紀夫

◆建築家…東井嘉信(株式会社大林組本店建築設計部)、荒木洋(AN Architects)、井上琢也(株式会社石本建築事務所大阪支所)、小林幹彦(阪神電鉄株式会社)、東原理子(株式会社石本建築事務所大阪支所)、長澤浩二(AN Architects)

主催:アートコートギャラリー / 協賛:三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、オー・イー・ピーマネジメント株式会社

● お問い合わせ: アートコートギャラリー (八木・清澤) ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449

E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com

**ARTCOURT Gallery**

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

〈これまでの『建築する音』プロジェクト〉

**「建築する音 vol.1 - Composition」****2006年3月10日-3月19日**

アーティスト 藤本由紀夫 × 建築家

東井嘉信(株式会社大林組本店建築設計部)

井上琢也(株式会社石本建築事務所大阪支所)

荒木 洋(AN Architects)・長澤浩二(AN Architects)

「建築物にアートはいらないが、建築にアーティストは必要だと思う」と述べる藤本氏。建築空間におけるサウンドアートの可能性について建築家と共にディスカッションを重ね、その成果を第1回目としてこの展覧会で報告しました。

「中世ヨーロッパにおいて、建築と音楽は比例関係を通じて密接な関係にありました。空間を構成することが建築であるとするならば、音楽とは、時間の流れを音によって構成することであるといえます。本展は、4人の建築家とサウンド・アーティストである藤本由紀夫が、アートコートギャラリーにおいて空間と時間を「com・pose」(共に・置く、組み立てる)を試みます。アートコートギャラリーの空間的特徴として、ほぼシメトリーであることがあげられます。このギャラリースペースを鑑賞者が「outside→inside」と自ら進むことによって、位置的対称と同時に、時間的対称が生まれます。この建築家・アーティスト・鑑賞者による「composition」(作曲)によって、そこにある音楽、そこから生まれる音楽を再認識する建築空間、「建築する音」が表出するのです。」

(プレスリリースより)

**「建築する音 vol.2 - Think with architecture」****2007年7月15日**

アーティスト 藤本由紀夫 × 建築家

東井嘉信(株式会社大林組本店建築設計部)

井上琢也(株式会社石本建築事務所大阪支所)

東原理子(株式会社石本建築事務所大阪支所)

荒木 洋(AN Architects)・長澤浩二(AN Architects)

小林幹彦(阪神電気鉄道株式会社)

建築物をまるでアート作品であるかのように考える建築家の自己顕示欲的な側面に対し、藤本氏が疑問を投げかけます。この問いに対し、「『建築する』という行為が、プラクティカルな案件(施主の要望・予算など)を技術的に解決するだけのものでは、『建築』よりも『建設』という表現が相応しいが、『建築する』という言葉には文学的ニュアンスが感じられる。」と建築家。『建築する音』第2回目の本展では、『建築』という言葉の本質的な意味合いについて考える“Think with architecture”をテーマとし、ミニマルな空間構成の要素(温度・明度・椅子の配列)によって、アートコートのシメトリーな構造を活かした対照的な空間を設え、ある一定時間内でその中を移動することにより導き出される空間認識と印象の変化に注目しました。

**「建築する音 vol.3 - ミクロコスモス」****2008年9月19日・20日**

アーティスト 藤本由紀夫 × 建築家

東井嘉信(株式会社大林組本店建築設計部)

井上琢也(株式会社石本建築事務所大阪支所)

東原理子(株式会社石本建築事務所大阪支所)

荒木 洋(AN Architects)・長澤浩二(AN Architects)

小林幹彦(阪神電気鉄道株式会社)

今日、「アート」の表現形態はこれまでにないほど多様化し、それに伴い「アートを鑑賞する」という行為もきわめて多面的になっています。アートと鑑賞者を媒介するギャラリーもまた、両者の変化に対応する柔軟性を身につけ、これまでとは異なる新しいあり方を模索しなければならぬとアートコートギャラリーは考えています。そのような新たな方向性を見出すために、アーティスト藤本由紀夫と建築家、そしてアートコートギャラリーが共同で行なう実験的プロジェクト『建築する音』は今年で3回目を迎えます。今回はより実践的な試みとして、「ミクロコスモス(小宇宙)」というひとつの存在形態をモデルに、アートコートの空間を、作品を展示・鑑賞するための「箱」から、作品と人、そして人と人との相互作用を活性化させ、訪れる人の知的好奇心を触発するサロンの「磁場」へと変容させます。2日間にわたるプログラムでは、空間・人・作品が同等な構成要素として相互に作用し合うことを促すユニークな装置を、藤本由紀夫と建築家たちが様々なバリエーションで展開します。

(プレスリリースより)





ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

藤本由紀夫 略歴

- 1950 愛知県生まれ
- 1975 大阪芸術大学音楽学科卒業

[主な個展]

- 1994 藤本由紀夫サウンドオブジェ展 (児玉画廊、大阪)、藤本由紀夫 版画展 (サイ・ギャラリー、大阪)
- 1996 オブライエンの部屋 (サイ・ギャラリー、大阪)
- 1997 廻るものの滑稽 (児玉画廊、大阪)、美術館の遠足 1/10 (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 1998 A RED MOON (サイ・ギャラリー、大阪)、美術館の遠足 2/10 (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 1999 美術館の遠足 3/10 (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2000 美術館の遠足 4/10 (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2001 AUDIO/VISUAL (ギャラリーキャプション、岐阜) PHILOSOPHICAL TOYS サイ・ギャラリー、大阪
「四次元の読書」(CCGA 現代グラフィックアートセンター、福島)
美術館の遠足 5/10(西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2002 in/out (京都アートセンター、京都)、美術館の遠足 6/10 (西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2003 美術館の遠足 7/10(西宮市大谷記念美術館、兵庫)
AUDIO/VISUAL II (ギャラリーキャプション、岐阜)
- 2004 PHILOSOPHICAL TOYS II (SHUGOARTS、東京) 美術館の遠足 8/10(西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2005 美術館の遠足 9/10(西宮市大谷記念美術館、兵庫)
- 2007 藤本由紀夫展「+/-」(国立国際美術館、大阪)
- 2009 藤本由紀夫「遠 / 近」(シュウゴアーツ、東京)
Yukio Fujimoto - The Tower of Time (Ikon Gallery / バーミンガム)

[主なグループ展]

- 1996 柔らかく重く (埼玉県立近代美術館、埼玉 / ライフ・ギャラリー、オハイオ)
写楽再見 (国際交流フォーラム、東京)、「トポスの復権」展2 (アサクラギャラリー、東京)
- 1997 アートラビンスII 時の記憶 (岡山県立美術館、岡山)
ものとあわれ 新しい関西の美術家たち (和歌山県立近代美術館、和歌山)
4th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭 (北九州市立美術館、福岡)
- 1999 五感の芸術 (クンストハウス、ハンブルク)
- 2000 震災・記憶・芸術 (川崎市岡本太郎美術館)、ガーデン (後樂園、岡山)
- 2001 第49回ヴェニス・ビエンナーレ (カステロ公園、ヴェニス)
among others 4(クンストラーハウス、ドルトムント)
Facts of Life : Contemporary Japanese Art (ハイワード・ギャラリー、ロンドン)
- 2002 遠藤利克&藤本由紀夫 (ニューリンアートギャラリー、ペンザンス)
本と美術 (徳島県立近代美術館、徳島)
- 2003 心の在り処—日本の現代美術— (ルードヴィヒ美術館、ブダペスト)
- 2004 心の在り処—日本の現代美術— (モスクワ現代美術館、モスクワ)
第一回大山子国際芸術祭 (大山子芸術区、北京)
マルセル・デュシャンと20世紀美術 (国立国際美術館 / 大阪)
- 2005 風景遊歩 (丸亀市猪熊弦一郎美術館 / 香川)
- 2007 第52回ヴェニス・ビエンナーレ (アルセナーレ / ヴェニス)
「関係-FUJIMOTO and, RELATIONS-」(和歌山県立近代美術館 / 和歌山)